

平成27年度
「学校における食育推進事業」

甲州市立塩山北小学校

- 事業報告書
- 食に関する指導全体計画
- 食に関する指導年間計画
- 給食時における食に関する年間指導計画



平成27年度 学校における食育推進事業 報告書

実施校 甲州市立塩山北小学校

1. 事業内容

(1) 事業実施期間

指定日 ～ 平成28年3月31日

(2) 取組テーマ

食と健康について考え、自ら実践する児童の育成～自産自消による食育の推進を通して～

(3) 事業目標

- 学校が家庭・地域と連携し、教育活動全体を通して、食に関する体験的な活動を取り入れた研究実践を行うことにより、食と健康に関して能動的に行動のできる児童の育成
- ①自分が食べる野菜などを進んで育て、それらを自ら調理することにより、食に対する関心をもつことができる。
 - ②食の重要性を理解し、1日3回の食事をきちんと食べるとともに、食の場を通じたコミュニケーションを図ることができる。
 - ③栄養のバランスのよい食事について理解し、健全な食生活を送ることができる。
 - ④自然の恩恵や食に携わる人々への感謝の念をもつことができる。

2. 実践内容

(1) 取組の評価方法等

評価指標	○自分で育てた野菜などを食べる子どもの増加 ○バランスのとれた朝食を毎日食べる子どもの増加 ○バランスの良い食事をとっている子どもの増加 ○食事の準備のお手伝いをする子どもの増加 ○嫌いな食品の数の減少 ○肉体的、精神的に健康である子どもの増加
評価方法	○実施前後の食に対する意識の変化のアンケート調査 ○実施前後の食に対する行動の変化のアンケート調査

(2) 具体的な取組

具体的な取り組みは、4本の柱を立てて実施した。

①授業研究

校内研究授業

第6学年家庭科「くふうしよう 楽しい食事」について授業を行った。この授業では、献立の立て方を学習し、個人ごと献立を作成した。その後、チームに分かれ、お弁当の日へ向けて、献立作成を行った。さらにチームごとに作成した献立を発表し、そ



の後良い点はピンクの付箋に、改善点は水色の付箋に個人ごと記入し、そのチームに渡した。付箋をもらった後、アドバイスをもとに再度チームで話し合い、より良い献立にした。授業後の研究会において、家庭科の基本的な指導内容はごはんと汁物を基本とした献立作成であること、また、家庭科の指導内容から発展した内容であるため、指導時数が増加し、時間の確保が難しいことが課題に上がった。子どもたちは意欲的に、いきいきと活動していたので、この取り組みを続けていくためには、家庭科だけでなく、学級活動等に関連させながら、進めていくことを考えていきたい。

授業参観

授業参観日に全学年で食育の授業を行い、家庭との連携を図った。

- ・ 1年生 学級活動「たべもののグループわけをしよう」

食べ物がその働きにより、3つの色の仲間に分けられることを学んだ後、親子で食べ物ビンゴゲームを行い、食べ物の3つの色の仲間を知り、なんでも食べる重要性について、楽しく学習した。

- ・ 2年生 学級活動「なんでもたべてげんきになろう」

3つの国の王様たちを元気にするペープサートを使用し、1年生で学習した内容の復習をかねて、食べ物の3つの色の仲間について確認した。子どもたちはどうすれば3つの国の王様を元気にできるのか、積極的に考えを出し合い、「バランスよく食べたい。」「好き嫌いをなくして、何でも食べて元気になりたい。」などの感想があった。

- ・ 3年生 学級活動「食べ物パワーで元気なからだ～食べ物の働きを知ろう～」

3つの色の食べ物の働きを確認しながら、食べ物が持つパワーについて学習した。授業の最後にナスで作ったデザートを食べてもらい、その後、ナスで作ったことを知らせると、子どもたちは大変驚いていた。赤、黄、緑の食べ物が、それぞれ大切な役割をしていることを子どもたちなりに理解し、授業後、苦手なナスもがんばって食べていた。

- ・ 4年生 学級活動「元気になる朝ごはんを考えよう」

朝ごはんに3つの色の食べ物を食べると3つの目覚ましスイッチが入ることを学ぶと同時に、塩山式手ばかりを用いて、自分の適正量について確認した。その後、バランスの良い朝ご飯を食べる取り組みを、1週間実施した。その結果、子どもだけでなく、保護者の方も、バランスよく食べる大切さの意識が高まった。

- ・ 5年生 学級活動「『お』のひみつ お米の言葉に込めた思い」

「お米」について考えることを通して、食べ物を大切にすることや感謝の気持ちについて学んだ。「ごちそうさま」の意味を知らない子どもが多く、この授業でその意味を学び、授業後、食事のあいさつを意味を考えながら、心を込めてするようになった。

- ・ 6年生 道徳「食べ残されたえびになみだ」

食べ物を大切にすることや感謝の気持ちについて考え直す授業を行った。授業後、生産者や調理してくれる人など、食に関わる人々の思いを考えることができるようになり、感謝の心を持って給食を食べるようになった。また、苦手なものを自らががんばって食べるようになり、残食の量が大幅に減少した。

塩山中学校区ブロック

地域と連携した授業実践として、本校がある中学校区のブロック交流研究会にすべての学年で食育の授業を行った。中学校区ブロック交流研究会とは、小中の連携を目的とし、塩山中学校区の4校の教職員が授業参観や研修会を行い、交流を行っている研究会のことである。

- ・ 1年生 学級活動「げんきなうんち 大きくせん！」
健康なうんちはどのようなうんちか、どのようなことをすれば健康なうんちが出るのか学んだ。
- ・ 2年生 学級活動「かむことについて考えよう」
ゼリーとするめを食べ比べ、「ひみこのはがイーゼ」というキーワードをもとに、なぜよくかむことがいいのかを考えた。
- ・ 3年生 体育（保健）「けんこうって、なんだろう？」
健康を支える三大要素「運動」「睡眠」「食事」について、学級担任と養護教諭のチームティーチングで授業を行った。
- ・ 4年生 学級活動「魚ってすごいね」
魚に含まれる栄養のを中心に学習し、その中で、魚の油と肉の油をホースに流し、ホースの中の様子を子どもに見せ、同じ油でも違いがあることを知らせた。
- ・ 5年生 学級活動「食事のマナーについて考えよう～修学旅行に向けて～」
6月に修学旅行を控え、その際の食事で、他のお客さんに迷惑をかけない食べ方について考えた。
- ・ 6年生 学級活動「食生活を振り返り、より良い食習慣を考えよう」
食生活と生活リズムの見直しをした。事前に調査した休日の過ごし方を、自分自身で見直し、課題を探した。その後、健康で丈夫な中学生になるためにどのように生活習慣を変えたらよいか考えた。

授業参観後には、スポーツ健康課指導主事である高尾順子先生をお招きし、食育について、学習会を行った。講演では、食育の必要性はもちろん、具体的な実践例についても教えていただいた。このブロック交流研究会に参加した先生方からは、「食育の大切さがよくわかり有意義だった。」「あまり見る機会のない授業を見ることができ、勉強になった。」「子どもたちの興味関心をひく教材が使われていた。」などの感想があった。本校の取り組みを中学校区で共有できただけでなく、食育についての知識を深める機会となった。今後は、本校の食育活動が中学校まで発展するよう働きかけていきたい。



②教科・総合的な学習の時間における取り組み

各学年、教科・総合的な学習の時間と関連させ、年間を通して栽培活動を行い、それぞれ調理し、試食した。試食の際には、苦手な野菜を自ら食べる姿が見られた。どの作物も農薬を使用せず栽培したため、虫に食べられた状態のものが多かった。虫がいると嫌がっていた子どもが、「虫に食べられる前に食べよう。」と話す姿が見られた。また、種まきをしたが、収穫ができなかった野菜もあり、野菜栽培の難しさや自然の厳しさを感じた。

学年	関連教科等	栽培した作物	試食方法
1年	生活科	ポップコーン・トマト・かぶ	かぶを使い、ホワイトシチューを作成
2年	生活科	夏野菜・だいこん	サラダパーティーを開催
3年	理科	枝豆・チンゲンサイ	共にゆでて試食
4年	総合的な学習の時間	落花生・小松菜	共にゆでて試食
5年	総合的な学習の時間	米・白菜	米は家庭科で炊飯した。白菜は各自が家庭で調理した。
6年	理科・家庭科	じゃがいも・だいこん	じゃがいもは理科及び家庭科で使用した。だいこんは各自が家庭で調理した。
特別支援	生活単元	ポップコーン・水菜	水菜はゆでて、おひたしにした。

③学校行事・児童会活動における取り組み

さつまいも栽培

学校近くに畑を借り、全校でさつまいも栽培を行った。水やりや草取りを行い、秋には4kgを超える大きなものが収穫できた。このさつまいもは給食センターの協力により、「大先輩とのふれあい集会」の際、一緒に試食し、地域のお年寄りと交流を深めることができた。



委員会活動（集会活動）

図書委員会は「食べもんどろ」, 保健委員会及び給食委員会は「食と健康に…イッテQ!」というテーマで集会を行った。図書集会は、食べ物や料理の名前を使った言葉遊びで食への興味関心を高める内容であり、保健・給食集会は健康の維持に必要な食と健康に関する知識をクイズ形式で学ぶ内容であった。

家庭科クラブ「ヘルシーなおやつ作り」

本年度の家庭科クラブは、普段のおやつに一工夫加えた調理実習を行った。毎回、試食タイムには、その日に作ったおやつの健康ポイントを栄養教諭から話した。野菜に含まれる栄養だけでなく、学校農園で育った野菜や地元のくだものを使うようにし、地産地消についても知識を深めることができた。

④家庭・地域との連携に関わる取り組み

バランスチェックカード

食生活が乱れやすくなる夏休みに実施し、1日3回、赤・黄・緑の食べ物をそれぞれ食べたか意識させるようにした。取り組んだ期間は1週間だったが、これを使うことで「自分が何色の食べ物を食べているか意識するようになった。」「バランスを考えて食べるようになった。」とコメントする子どもがいた。

〈1～4年生用カード〉

〈5・6年生用カード〉

食育講演会

子どもが作るお弁当の日の提唱者である、竹下和男先生をお招きし、「子どもが作る“弁当の日”」についてお話していただいた。この講演会には保護者だけでなく、実際にお弁当を作る5・6年生も参加した。このお話が大変刺激になり、「冷凍食品を入れよう。」「お弁当を作るの、面倒くさいな。」と言っていた子どもが、お弁当の献立作りに意欲的に取り組むよう変わった。

お弁当の日

11月と2月に実施した。1・2年生は買い物に行く、献立をうちのひと考える、おにぎりをにぎる、3・4年生は1・2年生の目標に加え、おかずをつめるという目標を設定し、実践した。5年生はワークシートを活用し、献立作成からすべて自分で作った。6年生は、11月は家庭科で作成した献立を基に各自がアレンジし、調理した。2月は5年生と同様の方法で行った。5・6年生の中には、弟、妹のお弁当を作った、お父さん、おばあちゃんに作ったという子どももいた。感想の中に、「家族においしかったと言ってもらえたことが嬉しかった。」と書く子どもが多かった。



〈1～4年生用カード〉

おべんとう作りにチャレンジ!

1 主食(米・水化物・黄色の食べ物を決めよう!)
家庭科ではおにぎりの作り方を習ったので、今回は家庭科が活かします。おにぎりはおにぎりにとくするおにぎりの作り方を参考にしてください。

2 主菜(たんぱく質・緑色の食べ物を決めよう!)
お肉、魚、たまご料理を決めよう。家庭科で習った献立をもとにしてください。

3 副菜(ビタミン・緑色の食べ物を決めよう!)
こんど作りの献立は、野菜のおかずを決めよう。家庭科で習った献立をもとにしてください。2品入ると、よりバランスが取りやすいです!

4 靴をきいてみよう。
自分がどのようなおべんとうにしたいか、イメージしているおべんとうの靴をきいてみよう。色をつけてみよう。いろいろも確認してみよう。

5 材料の手帳をしよう!
こんどが来た時、お肉、野菜の準備をしよう。まずは、おうちの材料を確認しよう。

6 買い物に行こう!
おうちの材料を確認して、必要な材料を買いに行こう。材料を買いに行くとおうちの材料を確認しよう。

7 おべんとう作り手順の確認をしよう!
1 最初に用意するもの、1つの作業にどれくらい時間がかかるのか、おうちのひとと相談して、おべんとう作りの流れを確認しよう。

いよいよ、おべんとう作りにチャレンジ!

当日の献立は、おべんとう作りについてのいろいろの時間が必要なの考えておけるようにしよう。お弁当の日があったら、お弁当の日まで、先生方やおうちのひとと相談しよう。みんなが作ったおべんとうに出発できること、とても楽しみにしています。

〈5・6年生用カード〉

ほくの!わたしの!おべんとう♪

2016年2月8日

3・4年生

3年 名前

【3・4年生がやること】

- ①おうちのひとといっしょにおべんとうのなかみを考え、買い物へ行こう。
- ②おにぎりを自分で作ろう。
- ③おべんとうはこに、なかみをつめよう。

おべんとう作りをしてみた感想

いっしょにお母さんが作るけど、おべんとうの日だから自分でおにぎりをや、カレーサラダや、おにぎりを、おにぎりをやりました。遠足の日とかは、おべんとう作りがたいいんなんだなと思いましたが、またおべんとうを作りたいです。

おうちのひとから

今回お母さんが考えたメニューのお弁当は、おにぎりをやる!!と張り合っていました。サングラスを一人に担当し、2回目なのでお弁当は、お母さんと一緒に会話しながらお弁当作りをしています。今回もおにぎりを上手に三角に作る事が出来ました。お弁当をやる「あー今日のお弁当は、おにぎりをやる!!」と、お母さんに話していました。とても上手なお弁当が出来ました。お弁当は、おにぎりをやる!!と、お母さんに話していました。とても上手なお弁当が出来ました。お弁当は、おにぎりをやる!!と、お母さんに話していました。とても上手なお弁当が出来ました。

ほくの!わたしの!おべんとう♪

2016年2月8日

6年生

6年 名前

おべんとうに入れた料理の名前

ハンバーグ
サラダ
肉巻き
飯
玉子焼き

おべんとう作りをしてみた感想

今回、第一回の11月8日に比べ、こんどから調理まで一人でやりました。第一回の時よりも、基本などを繰り返すとともに、安全面や衛生面に気を付けて調理することができました。また、いつも朝、昼、晩とご飯を作ってくれる母と祖母の苦労が実感できました。また自分一人でいろいろな料理とこれからの作りたいです。

おうちのひとから

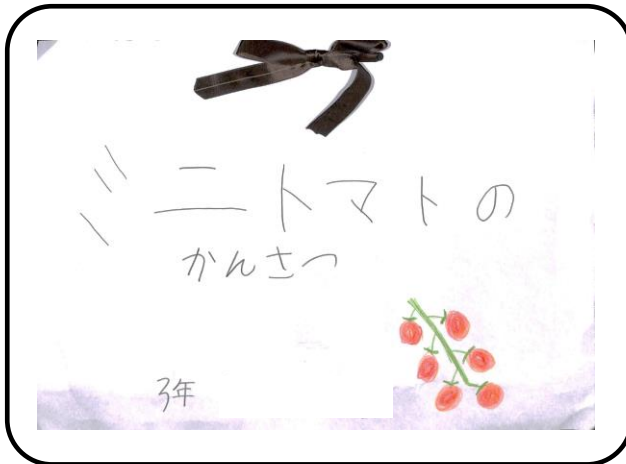
一人で献立を作り、味を自分で調整して、おにぎりをやる!!と、お母さんに話していました。とても上手なお弁当が出来ました。お弁当は、おにぎりをやる!!と、お母さんに話していました。とても上手なお弁当が出来ました。

一人一鉢ミニトマト栽培



J Aの方をお招きし、ミニトマトの苗植えおよび栽培方法について教えていただいた。この鉢を各自が家庭へ持ち帰り、ご家庭で栽培していただいた。夏休み明けには、「ミニトマトのかんさつ」という作品を作成してきた子どももいた。また、この活動の影響で野菜を栽培したご家庭があり、「こんなものを植えました。」という報告もあった。

〈児童の作品〉



甘草栽培

甲州市役所の方をお招きし、甘草の苗植えと栽培方法、甘草について教えていただき、実際に苗を植え、現在栽培している。甲州市役所からは「甘草茶のティーバッグ」をいただき、大先輩とのふれあい集会でいただいた。独特の香りがあるので、飲めない子どももいたが、甘草について知る機会になった。



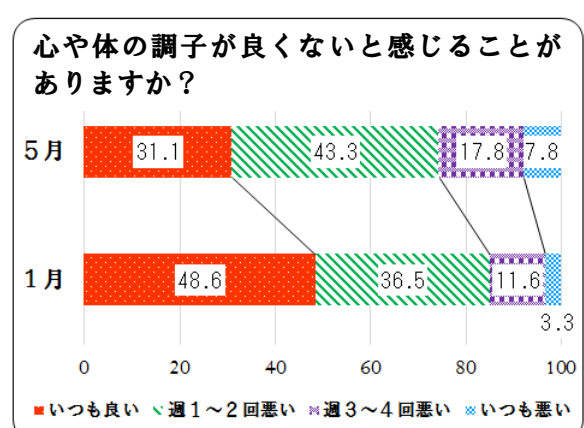
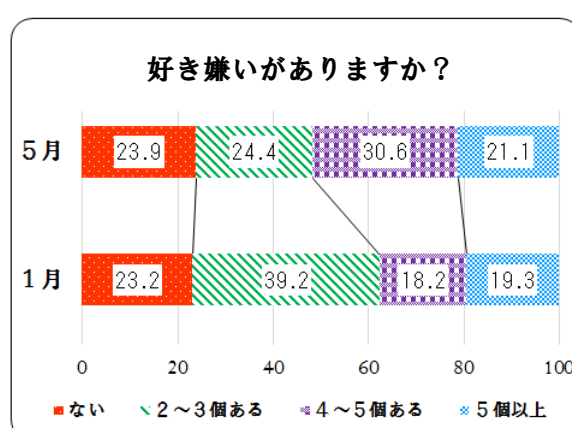
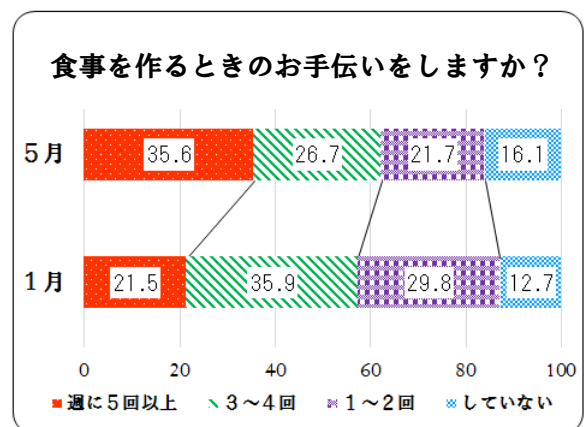
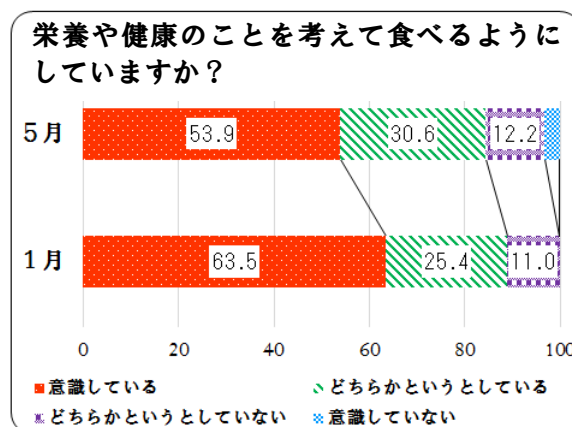
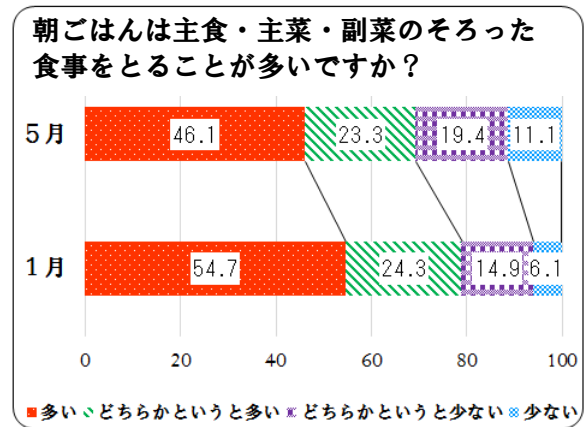
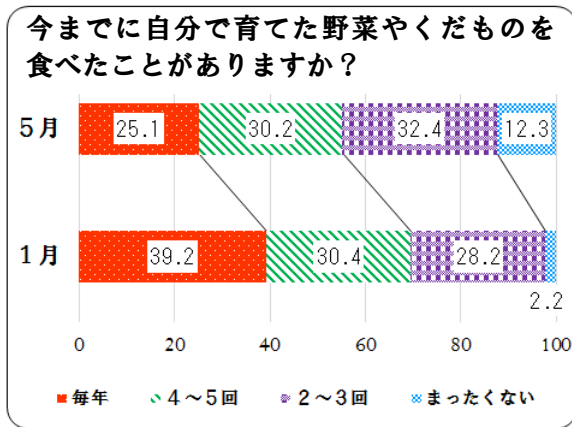
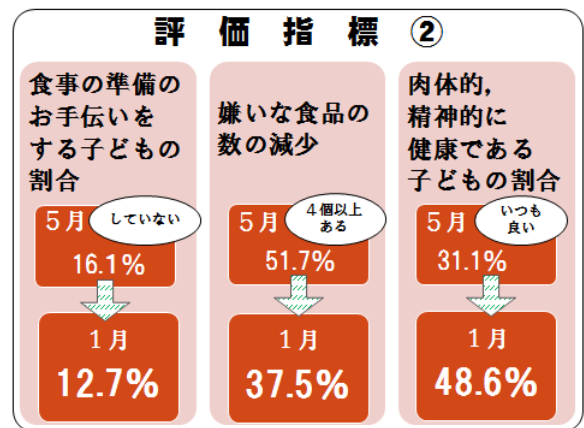
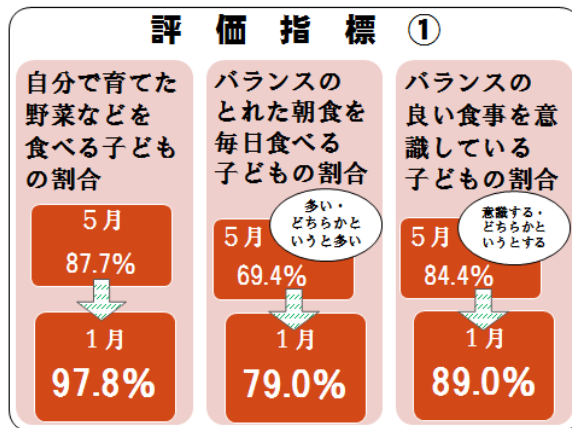
枯露柿作り体験

J Aの方をお招きし、5年生が枯露柿作り体験をした。枯露柿の歴史や名前の由来、農家の方が苦勞していることなどのお話を聞いたり、実際に硫黄燻蒸を間近で見たりして、枯露柿作りの大変さを肌で感じる事ができた。5年生が作成した枯露柿は、5年生の教室のベランダに干し、無事完成し、ご家庭で味わっていただいた。



(3) アンケート結果から見る児童の変容

6つの評価指標のいずれにおいても、良い傾向に変化していることがわかった。



3 成果と今後の課題

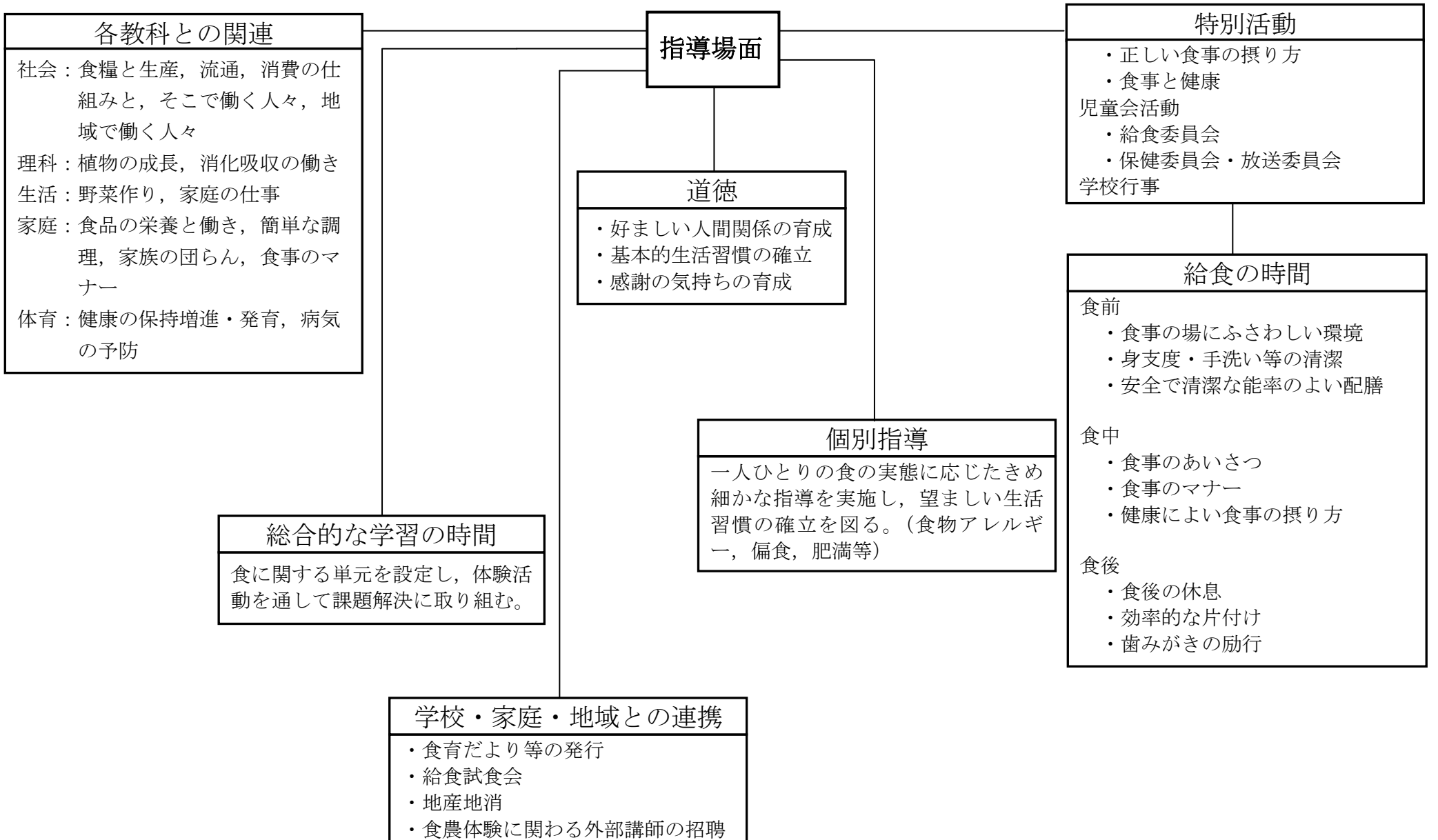
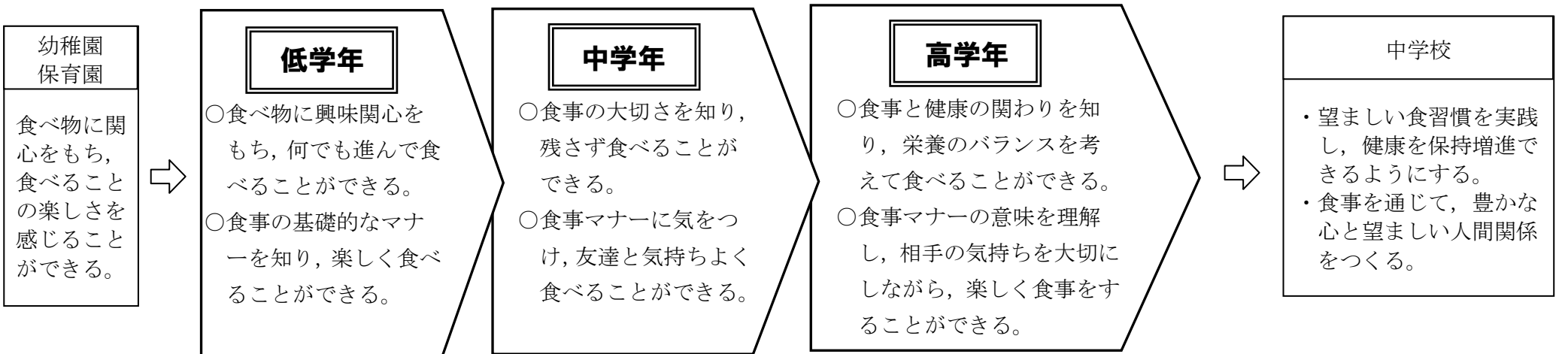
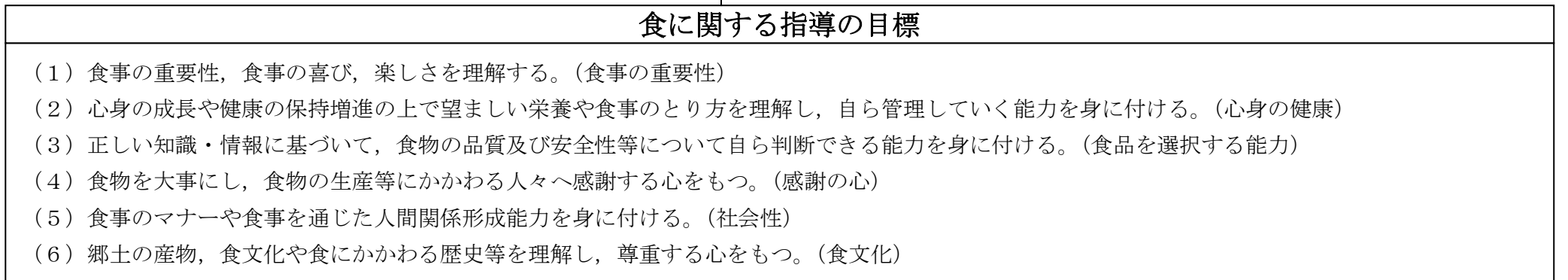
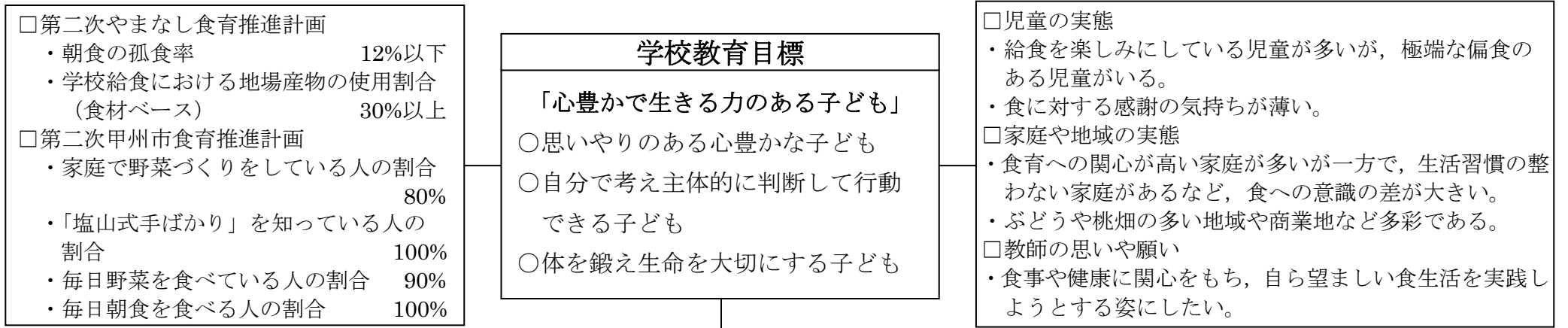
(1) 成果（事業全体を通じて、特に効果のあった方策など）

- 子どもが体験活動を通して学んだことが家庭に伝わったことや、家庭を巻き込んだ活動により、子どもの食と健康に対する意識の高まりがあった。
- 食育講演会や授業参観における食育の授業実践を行い、保護者と共に学習したり、学校だより、北辰を通して取り組みの具体的な内容を知らせたりしたことにより、保護者の食に対する意識の変化があった。その結果、学校だけでなく、ご家庭でも同様の指導をしてもらうことができ、より効果があった。
- 自産自消の体験を通して、「失敗することも勉強」になった。また、食べ物が簡単には作り出せないこと、食べ物のありがたみを実感することができた。楽しさや喜び、挫折などを体験することができ、心の育成、成長があった。
- 食育の推進は、教育活動全体にわたり実践できることがわかった。
- あらゆる体験活動が食に対する意識の向上および心や体の健康につながるということが分かった。

(2) 今後の課題（今回の事業により新たに見えた課題など）

- 「自産自消」ということで、自分たちで野菜作りを行ったり、調理実習やお弁当づくりの取り組みを行ったりしたことで、食と健康に対する意識は高まってきたが、この意識を継続させるための取り組みを考えることが必要である。
- 教科・総合的な学習の時間等の年間計画と食育および栽培活動の兼ね合いを考慮する必要がある。
- 本年度の体験活動が食の意識の向上、健康状態の向上につながることはわかったが、学力との関連性について知りたい。
- 「自産自消」の取り組みの充実を来年度の研究でも図っていくことが大切である。子ども達の「生きる力」の育成に向け、今年度の研究が生かすようにしていくことが必要である。

甲州市立塩山北小学校 食に関する指導全体計画



		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特別活動	学級活動	主題	楽しい給食	食事作法	じょうぶな骨や歯	健康によい食事(夏の食生活)	規則正しい食生活	バランスのよい食事	食べ物の栄養①(野菜・果物・いも・米)	健康によい食事(冬の食生活)	食について考えよう	食べ物の栄養②(魚・大豆・海藻)	一年間の反省
	ねらい	給食の決まりについて理解する 進んで当番の活動ができる	基本的な食事の作法を身につける	じょうぶな骨や歯をつくるための食生活を心がける	夏を健康で過ごすための望ましい食習慣を身につける	規則正しい食生活の大切さがわかる	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることができる	食べ物の栄養を知り好き嫌いを何でも食べることができる	冬を健康で過ごすための望ましい食習慣を身につける	給食の歴史や意義について知り、食べ物大切さがわかる	食べ物の栄養を知り好き嫌いを何でも食べることができる	一年間の給食(食生活)を振り返って食生活への関心を高める	
	指導内容	1年	給食の決まり	基本的な食事のしかた	牛乳を飲もう	おやつとり方	食事の大切さ	食品の3つの仲間	食べ物の名前	寒さに負けない食事	学校給食週間	食べ物の名前	給食の反省
		2年	給食の決まり	はしの使い方	よくかんで食べる	上手なおやつとり方	朝食を食べよう	食品の3つの仲間	野菜を食べよう	寒さに負けない食事	学校給食週間	魚を食べよう	給食の反省
		3年	給食の決まり	和食のマナー	カルシウムの働き	夏の食生活	3度の食事	食品の3つの仲間	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食ができるまで	大豆の栄養	給食の反省
		4年	給食の決まり	食事のあいさつ	かむことの効果	夏の食生活	朝食の大切さ	バランスよく食べる	野菜の2つの仲間	冬休みの食生活	給食の歴史	海藻の栄養	給食の反省
		5年	楽しい給食の工夫	食事のマナー	カルシウムのとり方	夏の飲み物とおやつ	生活のリズム	バランスよく食べる	米の栄養	かぜに負けない食生活	郷土食・行事食	食物繊維	食生活の反省
6年	楽しい給食の工夫	会食のマナー	骨粗しょう症	おやつ選び方	栄養・運動・休養	バランスのよい食事	貧血と食生活	かぜに負けない食生活	日本の食糧事情	生活習慣病	食生活の反省		
児童会活動と学校行事			一人一鉢ミニトマト栽培 全校さつまいも栽培	給食試食会		食育講演会	お弁当の日		ブロック交流研究会	お弁当の日			
教科	生活	1年	さかせてみたいな はないっぱい										
		2年	大きくそだてみんなの野さい										
	理科	3年	たねをまこう	どれぐらい育ったかな?	花がさいたよ	実ができたよ							
		5年	植物の発芽と成長	魚のたんじょう		花から実へ					人の誕生		
	社会	6年	動物のからだとはたらき	植物のからだとはたらき									
		3年				店で働く人と仕事	工場働く人と仕事	ワイン				昔の道具とくらし	
		4年				ごみはどこへ	水はどこから						
		5年		米づくりのさかんな地域	水産業のさかんな地域	わたしたちの食生活について考えよう						生活環境を守る人々	
	家庭科	6年									世界の人々とともに生きる		
		5年	わたしと家族の生活	はじめてみようクッキング		やってみよう家庭の仕事		食べて元気に	3つの食品グループ	ご飯とみそをつくらう			
	保健体育	6年	わたしの生活時間					くふうしよう たのしい食事					
		3年		毎日の生活と健康								毎日の生活と健康	
		4年										育ちゆく体とわたし	
他教科	6年			病気の予防							病気の予防		
							国3すがたをかえる大豆	食べもののひみつを教えます。					
道徳		1年しげんのいのち											
総合		3年：地域とたべもの 4年：くらしに目を向けて 5年：お米のひみつを探ろう 6年：日本と外国の食べ物の違いに気づこう											
個別指導		・偏食、肥満、痩身、食物アレルギーへの対応											
家庭・地域との連携		・一人一鉢栽培 ・お弁当の日(11月・2月) ・献立表 ・給食だより ・食育だより ・学年だより ・PTAだより ・給食試食会 ・授業参観日											
献立計画		・行事食や郷土食と取り入れた献立の実施 ・地場産物や旬の食材を利用した献立作り ・教科等に関連した献立作り											

平成27年度 給食の時間における食に関する年間指導計画

塩山北小学校

月	学級活動		給食時間の指導内容 (学級訪問・一ロメモなど)	関連教科等	献立計画				
	主題	ねらい			献立作成のポイント	行事食等	教科等の関連	旬の食品	地場産物
4	楽しい給食	給食の決まりについて理解する。 進んで当番活動ができる。	給食の決まり・手洗い 給食当番の仕事・身支度 能率的な準備や片付け 春の食べ物	2年生活:大きくそだてみんなの野さい(10月まで) 5年家庭:わたしと家族の生活 6年家庭:わたしの生活時間	・新入生に期待感を持たせ、食べやすい献立にする。 ・新入生の食事状況に配慮しながら量は少なめにする。 ・春を感じられる献立を工夫する。	入学・進級祝い		菜の花 いちご さわら たけのこ 春キャベツ	【通年】 ぶどうジュース にじます・まいたけ
5	食事作法	基本的な食事の作法を身につける。	食事のマナー・あいさつ はしの使い方 和食のマナー 旬の食べ物	1年生活:さかせてみたいはないっばい 1年道徳:しぜんのいのち 3年保健:毎日の生活と健康 3年理科:たねをまこう 5年理科:植物の発芽と成長 5年家庭:はじめてみようクッキング 6年理科:動物のからだとはたらき	・春の食材を使って味や香りを楽しめるようにする。 ・初夏のさわやかさを感じられるようにする。	端午の節句	かみかみメニュー 朝食に合うおかず	たけのこ かつお 新じゃが 山菜 新タマネギ 甘夏 アスパラガス 新茶	
6	じょうぶな骨や歯	じょうぶな骨や歯をつくるための食生活を心がける。	骨や歯によい食べ物 かむことの大切さ 梅雨時の衛生 食中毒の予防	3年理科:どれぐらい育ったかな? 5年理科:魚のたんじょう 5年社会:米づくりのさかんな地域 6年理科:植物のからだとはたらき 6年保健:病気の予防	・骨や歯をじょうぶにし、あごの発達を促す食品を取り入れる。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	むし歯予防デー 梅雨入り	カルシウムを多く含む食品 かみかみメニュー	じゃがいも たまねぎ アスパラガス うめ メロン	さくらんぼ
7	健康によい食事(夏の食生活)	夏を健康に過ごすための望ましい食習慣を身につける。	夏の食生活のポイント 夏野菜を食べよう おやつのとりにかた 夏休みの過ごし方	3年理科:花がさいたよ 4年社会:ごみはどこへ 5年社会:水産業のさかんな地域 5年家庭:やってみよう 家庭の仕事	・食欲をそそり、涼しさを感じさせる工夫をする。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	たなばた 土用の丑の日 セレクト給食	夏野菜	かぼちゃ なす きゅうり トマト ピーマン すいか とうもろこし	
8・9	規則正しい食生活	規則正しい食生活の大切さがわかる。	給食の決まり・マナーの確認 生活リズムの大切さ 朝食の大切さ 夏ばて回復の食事	3年理科:実ができたよ 3年社会:店で働く人と仕事 4年社会:水はどこから 5年社会:わたしたちの食生活について考えよう 6年家庭:くふうしよう たのしい食事(11月まで)	・食欲をそそる工夫をする。 ・運動会の練習に配慮し消化吸収のよいものを取り入れる。 ・食中毒防止上、食品の選択と調理の工夫をする。	重陽の節句 十五夜・月見 敬老の日 お彼岸		さといも なす さんま さば えだまめ なし ぶどう	ぶどう

月	学級活動		給食時間の指導内容 (学級訪問・一口メモ など)	関連教科等	献立計画				
	主題	ねらい			献立作成のポイント	行事食等	教科等の関連	旬の食品	地場産物
10	バランスのよい食事	食べ物の働きを知り、バランスよく食べることができる。	食べ物の3つの仲間 運動と栄養の関係 目によい食べ物 秋の食べ物	3年国語:すがたをかえる大豆 5年社会:食べて元気に	・秋を感じられる献立を工夫する。	体育の日 目の愛護デー	ごはん・みそしる	きのこ さといも さんま いわし さけ くり ぶどう かき	ぶどう
11	食べ物の栄養① (野菜・果物・いも・米)	食べ物の栄養を知り、好き嫌いなく、何でも食べることができる。	秋の食べ物 野菜の栄養・果物の栄養 いもの栄養・米の栄養 感謝して食べよう	3年国語:食べもののひみつを教えます。 3年社会:工場で働く人と仕事ワイン(12月まで) 5年家庭:3つの食品グループ	・秋の味覚を楽しめる献立を工夫する。 ・収穫物を利用するなど感謝の心を育てる工夫をする。	いい歯の日 七五三 県民の日 勤労感謝の日	新米・いも 野菜・くだもの 鉄を多く含む食品 大豆製品	さつまいも きのこ だいこん はくさい さけ いわし りんご	キウイフルーツ
12	健康によい食事 (冬の食生活)	冬を健康で過ごすための望ましい食習慣を身につける。	寒さに負けない食生活 かぜの予防 冬野菜を食べよう 冬休みの過ごし方	5年家庭:ご飯とみそしるをつくらう	・体を温める食事の工夫をする。 ・かぜを予防する食事の工夫をする。 ・冬の食材を取り入れる。	冬至 クリスマス 冬至 年取り	冬野菜	ほうれんそう ごぼう はくさい だいこん ブロッコリー みかん たら ぶり ゆず	
1	食について考えよう	給食の歴史や意義について知り、食べ物大切さがわかる。	給食週間について 給食ができるまで 郷土食・地場産物 感謝して食べよう	3年保健:毎日の生活と健康 5年理科:人の誕生 6年社会:世界の人々とともに生きる	・体を温める食事の工夫をする。 ・郷土食を取り入れる。 ・地場産物を取り入れる。	正月料理 七草・鏡開き 小正月 学校給食週間	郷土食 地場産物	れんこん こまつな 春菊 ブロッコリー はくさい みかん ぶり	
2	食べ物の栄養② (魚・大豆・海藻)	食べ物の栄養を知り、好き嫌いなく、何でも食べることができる。	魚の栄養 海藻の栄養 豆の栄養 生活習慣病と食生活	3年社会:昔の道具とくらし 4年保健:育ちゆく体とわたし 5年社会:生活環境を守る人々 6年保健:病気の予防	・豆類、魚、海藻を取り入れる。 ・春のいぶきを感じられるようにする。	節分・立春 バレンタインデー	魚 大豆 海藻 食物繊維を多く含む食品	ブロッコリー 春菊 水菜 いよかん ぼんかん	
3	一年間の反省	一年間の給食(食生活)をふりかえって食生活への関心を高める。	1年間の給食の反省 1年間の食生活の反省 望ましい食習慣		・春を感じられる献立を工夫する。 ・楽しい思い出になるよう工夫する。 ・卒業、進級を祝う。	ひなまつり 卒業祝い		さわら 菜の花 いよかん はっさく いちご	